



学んでのぞむ4年に1度のサッカーの祭典

# サッカーワールドカップ講座

明らかにいつもと違う。行き交う人々は少なく、商店はシャッターを下ろしている。地球の裏側—この街もいつもと違う。真夜中なのに殆ど家が明かりを灯している。4年に一度、どこかの国のどこかの街のこんな風景が報道される。皆、集中しているのだ。テレビに映された母国のサッカー選手がボールの向こうにある夢を追いかける姿に。

サッカーワールドカップの本大会が間もなく始まる。開催国はロシア。今回、予選に参加したのは209の国と地域。日本は6回連続の本大会出場をつかみ取り、32か国の中に名を連ねた。

一方、「もう一つのワールドカップ」と呼ばれる大会がある。国際知的障がい者スポーツ連盟が主催するサッカー世界選手権大会だ(開催国:スウェーデン)。競技人口5,000人の夢をのせて、子どもたちや青少年たちとともに歩み、

たどり着いた最高の舞台がある。

今回の講座では、サッカーの知識が少ない方にも御参加いただけるよう、年齢・性別・人種・障がいの有無に関わらず多くの人が楽しむサッカーの魅力やワールドカップの基礎のお話を交え、元日本代表選手、新聞記者のみなさんから、ワールドカップの魅力を語っていただきます。



©JFA

開催日と内容	講座情報	講師名
<b>第1回:4月8日(日)</b> 日本サッカーとワールドカップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定員:60名</li> </ul>	<b>第1回</b> 大仁 邦彌(ダイニ クニヤ)氏 公益財団法人日本サッカー協会名誉会長 サッカーミュージアム館長
<b>第2回:4月22日(日)</b> ワールドカップを目指した選手として	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回数:全5回</li> </ul>	<b>第2回</b> 森 正明(モリ マサアキ)氏 元サッカー日本代表 神奈川県議会議員
<b>第3回:4月29日(日)</b> ワールドカップロシア大会の見どころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曜日:日曜日</li> </ul>	<b>第3回</b> 岡部 伸康(オカベ ノブヤス)氏 神奈川新聞整理部長
<b>第4回:5月 6日(日)</b> 障がい者サッカーのワールドカップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間:各回10:00~11:30</li> </ul>	<b>第4回</b> 松田 薫二(マツダ ケンジ)氏 一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 専務理事兼事務総長
<b>第5回:6月 3日(日)</b> 【館外学習】 日本サッカーミュージアム見学 集合:10:00 日本サッカーミュージアム 解散:11:30 日本サッカーミュージアム ※入場料(400円)・交通費は自己負担 ※集合場所等の詳細は講座開催中にご案内します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●費用:300円(資料代) ※中学生、高校生は無料</li> </ul>  <p>©JFA</p>	<b>第5回</b> 日本サッカーミュージアム 関係者

→講座申込方法は裏面にあります



学んでのぞむ4年に1度のサッカーの祭典

# サッカーワールドカップ講座

## 【講師紹介】

### ■大仁 邦彌(ダイニ クニヤ)氏

公益財団法人日本サッカー協会(JFA)名誉会長、日本サッカーミュージアム館長

1944年、兵庫県神戸市生まれ

1970年に三菱重工株式会社に入社し、同サッカー部に入部。1972年に日本代表に選出される。日本サッカーリーグ(JSL)では1978年の引退までの8年間で119試合に出場し、1得点、4アシスト。日本代表としてはインターナショナル A マッチに44試合出場。

2012年第13代 JFA 会長に就任し、2014年 FIFA ワールドカップブラジル大会出場、女子サッカーの充実、東日本大震災復興支援、JFA の組織改革等をけん引した。会長としての在任期間は2012年～2016年。

2016年秋の叙勲にて、旭日小綬章を受章。

### ■森 正明(モリ マサアキ)氏

元サッカー日本代表、神奈川県議会議員

1961年7月12日生まれ、長崎県出身

1984年福岡大学卒業後、フジタ工業サッカー部入団。その後、ベルマーレ平塚(現:湘南ベルマーレ)の選手・トップチームコーチ・ジュニアユース監督・地域コミュニティ担当した。神奈川県サッカー協会副会長、湘南ベルマーレ市民応援団副団長。

### ■岡部 伸康(オカベ ノブヤス)氏

神奈川新聞整理部長

1988年、神奈川新聞社入社。運動部に通算20年在籍し、サッカーを中心に担当。少年からトップリーグまで幅広く取材した。93年のJリーグ開幕、2度のW杯(98年のフランス大会、2002年の日韓大会)、小学生時代の中村俊輔、高校生時代の岩本輝雄の取材などが印象に残っている。

### ■松田 薫二(マツダ クンジ)氏

公益財団法人日本サッカー協会グラスルーツ推進部部長、一般社団法人日本障がい者サッカー連盟専務理事兼事務総長

1959年、広島県広島市生 東京農業大学卒業

ヤマハ発動機に10年間勤めた後、1992年にJリーグに転職。11年間Jリーグの様々な基盤整備に従事した。

2004年から日本サッカー協会(JFA)に籍を移し、技術部、広報部、代表チーム部の部長を務め、指導者養成やエリート選手育成、広報、各カテゴリーの日本代表チームの運営等を行った。その後、2015年1月に新設されたグラスルーツ推進部の部長に就任。年齢、性別、人種、障がいの有無に関わらず多くの人がサッカーを楽しめる環境づくりを推進している。また、7つの障がい者サッカー競技団体と共に2016年4月にJFAの加盟団体となる日本障がい者サッカー連盟(JIFF)を設立した。JIFFでは専務理事兼事務総長を務め、障がい者サッカーへのサポートや障がい者サッカーを通じた共生社会の実現に努めている。

## ◆申込方法

はがき(1人1枚)に「サッカーワールドカップ講座」と明記のうえ、住所、氏名(フリガナも)、年齢(何歳代、中学生・高校生の場合は学年)、電話番号を記入し、《〒254-0047 追分1-20 中央公民館》まで。中央公民館窓口でも、受付いたします(申込書が窓口にあります)。

※回数にかかわらず、資料代は300円となります。(中学生・高校生は無料)

## 締め切りは 2018年 3月27日(火) 必着 です。

※定員を超えた場合は抽選です(平塚市民・初参加の方が優先)。当落通知は締め切り後、約1週間で郵送します。

※講座の開催日、内容は、講師の都合で変更になる場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ 平塚市中央公民館 0463-34-2111

神奈川県平塚市追分1-20 JR 東海道線「平塚駅」北口または西口より徒歩15分